

令和元年度 事業報告

自：平成31年4月 1日

至：令和 2年3月31日

中津市の農用地の利用調整や担い手不足、高齢化による労働力不足に対応する為、農地集積円滑化事業や農作業受委託を行うとともに、公共施設等の管理や、担い手不在集落の対応、担い手農家の育成、新規就農者への支援を行い、地域の発展に寄与することを目的として農業公社を設立し、18年目を迎え、その実績について次のとおり報告します。

一農地集積円滑化事業一

農地を意欲のある農業者に集積し、担い手や認定農業者、農業生産法人等の経営規模拡大を誘導するとともに農作業の効率化を図り、生産性の高い農業経営を実現し、中津市農業の更なる発展を目指してきました。また、農地中間管理機構が実施する農地の貸借業務の促進を目的とした事業内容や制度の活用を周知し、担い手や株式会社農業生産法人やまくにとの連携を図り農地の利用集積を推進しました。

一農作業受委託事業一

農作業受委託事業につきましては、田植え作業が、19.2ha（前年度対比102.1%）、稲刈りが41.5ha（前年度対比104.2%）となっております。農家の高齢化、担い手不足にともなう農業の衰退によって、農地の総合的管理（利用権設定等）の要望は増加傾向にあります。今期の農業生産法人による農地管理面積は28.9ha（前年度対比94.2%）となり、農家からの相談を受け、地域の担い手と協力し効率的に作業が行えるよう対応しました。特に中山間地域等直接支払制度が適用される農地については、地域と連携し、認定農業者、JA、そして（株）農業生産法人やまくにと協力し、農地の総合的な管理や農業者の要望に応えました。

一担い手育成事業一

農業者の高齢化や後継者の減少が急速に進むなか、就農相談会等に積極的に参加し、地域の担い手の確保や認定農業者等の育成、強化を図っております。具体的な手段として、公社組織の強化を図るため、公社職員の採用及び人材育成を行いました。さらに、大分県農業次世代人材投資事業研修機関等の認定を受けた中津市梨学校で新規就農者の育成を行いました。

一公共施設等の管理事業一

堆肥センターの稼働から14年が経過し、家畜排泄物の適正な処理と、良質な堆肥の生産、販売を行うことで、畜産農家の健全な運営と、耕種農家の安定的な生産維持につながるように支援しています。また、堆肥の販売と同時に散布作業を行うことにより、農家の負担を軽減し、農産物の栽培と、地域内の資源循環型農業の推進に努めています。

今年度も、2,002t（前年度対比84.1%）の堆肥販売量を確保することができました。また、県内の酒類会社と連携し焼酎粕を処理し堆肥と混合することで良質な堆肥の生産を行いました。さらに農家への土づくりの普及に努め、安全安心な農産物、美味しいお米、野菜、果実といった高付加価値のある農産物の育成に繋げることで、農家の経営改善に取り組みました。